

# とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設番号	
施設名	
施設所在地	
法人名	

## 1. 活動のテーマ

<テーマ>

種・植物・自然

(全園での活動取り組み)

<テーマの設定理由>

(テーマに関する子どもの興味関心、園の特色など)

- ・年長・年中の子ども達が給食で食べたみかんの種の発見から発芽し観察が始まった。果物や野菜にはいろんな種がある。種から芽が出るか? 子供たちの興味から活動が始まった。
- ・園庭のみかんは収穫前に落下、実際に実を収穫体験。また、木が大きくなるなるとどうなるか想像してみよう。
- ・長年、飼っていた金魚が死んでしまった。系列園からメダカを貰って飼育を始める。
- ・各クラスの活動を発表してみよう。

## 2. 活動スケジュール

4月 みかんや豆の種を蒔く。スイカや朝顔の種も観察。プランターに植え替える。  
11月 移動果樹園実施。  
1月 メダカの飼育を始める。  
3月 各クラスでの活動を発表する会

### 3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

(活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具)

- ・植物の種を集めて、発芽しやすい環境(容器に綿、暗所)
- ・園庭にみかんの木を搬入し全園児が摘果できるように時間と場所の設定。
- ・生き物を観察できる環境を整える。(メダカ、水槽等。)
- ・子ども達の発見や気持ちが発表し易いように工夫する。(マイク等、写真、プロジェクター等)

### 4. 探究活動の実践

#### <活動の内容>

「たね」に興味を持った4・5歳児から「芽が出るか、やってみたい。」と声が上がったことから活動が始まった今年度の取り組み。子どもの興味を見逃さず、次の活動に展開できるように準備をしていく。公園で見つけた梅も「たね」、3歳児クラスでも梅干しにしてみた。園庭の柑橘系の木には幼虫が生まれることがあって、観察したり生き物をもらったり飼育が始まった。図鑑で確認することもできるようにした。乳児クラスでもメダカの成長を見て楽しむ。

#### <活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

(活動の内容、活動中見られた子どもの姿、保育者との関わり等)

・子ども達の興味は芽が出るか。その種の発芽を保育室で毎日観察した。暗室にされた箱の中を覗き込んで確認して発見を保育士に伝えたり友だちと共有し子どもの意見を参考にやり方を保育者も一緒に考えた。成功したものを戸外に植えることができた。

・保育室には育ててみたいと持ち込まれる虫の多くは育たないが観察することで、子ども同士で何の幼虫か、どうなるか、雄雌等、意見を言い合ったり、経験を話す姿が見られ、保育者はよりわかりやすい図鑑を用意したり、飼育の助言をする。

・生き物を慈しむ姿を大事にしたいので、メダカを譲り受け飼育を始める。乳児クラスはホールで遊ぶ時や登降園時に水槽を眺めて、メダカの色や体の大きさの変化に気付き、保育者に伝える姿があり共感して友だちにも伝えあう。



## 5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

子ども達は日に日に姿を変える種を見て興味を持ち「他の種はどうなるんだろう」とスイカやりんご、朝顔等の種も観察した。子ども達からの発信に丁寧に向き合うことで興味関心は大きくなって積極的に関わろうとする子供たちの姿があった。できるだけ尊重し見守る姿勢が大事だと感じた。また植物への関心を深める良い取り組みとなった。

# とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設番号	66-1058
施設名	杉並の家ちゅうりっぷ保育園
施設所在地	杉並区浜田山2-23-13
法人名	社会福祉法人けいわ会

## 1. 活動のテーマ

<テーマ>

種、自然「体の使い方を知り、探索活動を通して自然物に親しみを持つ。」

0歳児クラス（ひよこ）

<テーマの設定理由>

乳児期、体の発達が大切な時期なので、様々な活動を通して体の動かし方を知り、探索活動を通して、自然や種、木の実などにも触れ合えるようにしたいと考えた為。

## 2. 活動スケジュール

#### 1期

- ・ミラーマット、鏡を使用して自分の体に興味を持つ。
- ・ホールや園庭で活動し、体の動かし方を知ることで探索が活発になる。

#### 2期

- ・戸外での探索でどんぐりや木の実に興味を示し拾う。

#### 3期

- ・保育室で持ち帰ったどんぐりや木の実を使ってフォトフレームを作る。

### 3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

(活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具)

- ・全身が見れるように大きな鏡やミラーマットの設置。
- ・園庭では築山や切り株を使い体を動かせるようにした。
- ・ホールでは全身を使って動けるように巧技台や平均台を使用する。
- ・公園内では探索できるようにどんぐり等自然物が落ちているところで遊ぶ。
- ・製作に使用した素材、道具 (どんぐりや木の実、紙粘土、絵具、段ボール、シール、ボンド、両面テープ)

### 4. 探究活動の実践

#### <活動の内容>

- ・保育室内で全身鏡、ミラーマットを使用し鏡に映る自分を見て自分の体に興味や関心を持つ。
- ・日々の活動の中で体を動かし方を知ることができるように、ホールで巧技台や平均台を使用して遊ぶ。
- ・体の動かし方を知り、動ける範囲が広くなり、探索活動が活発になる。園庭や公園、ホールでも探索活動を存分に行った。
- ・戸外活動時に探索を行う中でどんぐりや木の実、落ち葉などの自然物に興味を示した。
- ・持ち帰った自然物を使ってフォトフレームを作成した。

#### <活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

(活動の内容、活動中見られた子どもの姿、保育者との関わり等)

・鏡を見て首を傾げたり手や足をあげて体が動く様子を見ていた。「○○くんがいるね」などと話すと嬉しそうに鏡の中を見ていた。・ホールでは巧技台で四つ這いや這い這いなどをして体をたくさん動かしていた。梯子ではどこに手を置くのかなどを話しながら関わった。・戸外での探索活動時は保育者が拾って見せたどんぐりなどの自然物に興味を示した。・自分で見つけることを楽しみ、拾ったものを保育者に見せたりと戸外の探索が活発になった。・「これは丸いね」「ちょっと形違うね」などと声を掛けて種や自然に興味を持てるような言葉かけをした。・製作時もどんぐりなどに喃語で反応しながら、製作を行っていた。



## 5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

体の動きを大切に環境構成や活動を行ったことでしっかり安定して歩行をするようになった。探索活動も活発になり、戸外や園庭でも積極的に活動していた。這い這いやずり這いなど、丁寧に見ていくことで体がしっかり発達していくことを再確認できた。探索活動では自然物に気付けるように保育者が積極的に誘ったり、見せたりした。最初は関心が薄かった子もいたが、徐々に興味をもてるようになったので良かった。

## とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設番号	66-1058
施設名	杉並の家ちゅうりっぷ保育園
施設所在地	杉並区浜田山2-23-13
法人名	社会福祉法人けいわ会

### 1. 活動のテーマ

<テーマ>

種・植物・自然「あさがおの種取り」

1歳児クラス（あひる）

<テーマの設定理由>

（テーマに関する子どもの興味関心、園の特色など）  
アサガオの種の実に触れてみたり、割ってみたりする。

### 2. 活動スケジュール

- ・夏に中庭で水遊びをした際、グリーンカーテンとして植えられたアサガオに水をやったり、花びらで色水遊びをする。
- ・アサガオの実を保育者と一緒に収穫してみる。
- ・保育室で収穫したアサガオの実を保育者と一緒に割り、種に触れる。

### 3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

(活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具)

- ・中庭でできたアサガオの花や実を紹介しながら収穫。
- ・保育室の机の上に新聞紙と白の画用紙を敷き、実を割って種取りをした際に種が見えやすいようにした。

### 4. 探究活動の実践

<活動の内容>

夏→グリーンカーテンとして植えられたアサガオに水をやったり、毎日の成長を観察した。花が咲いたら花びらを使って色水遊びを行った。

秋→実が実ったら保育者と一緒に収穫し、保育者が実を割って種を取り出し子どもと一緒に観察をした。

冬→十分な数の実が収穫できたため、子ども一名につき3～4個ほど実を割り、種取り体験をした。

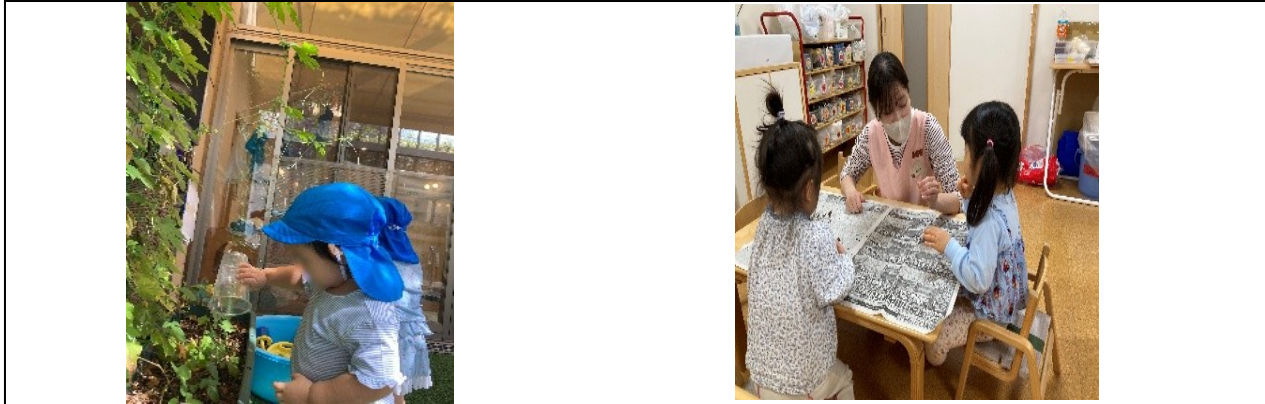
<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

(活動の内容、活動中見られた子どもの姿、保育者との関わり等)

夏→水遊び中にアサガオに水をやったり「お水おいしい?」と話しかけたりする姿があった。アサガオが成長したり、花をつけたりする様子を喜んでいた。

秋→花が実になり、中に種ができることを保育者が説明すると、子ども達は不思議そうな表情をしていた。実際に実を収穫して種を見せるとじっくり観察をしていた。

冬→アサガオの実を受け取ると、割って種取りを積極的に行っていた。種がうまく取り出せると「とれた〜!」と嬉しそうに保育者に報告していた。



## 5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

・夏から冬にかけて、日々の生活の中で植物が徐々に成長して花を咲かせ、実を作る様子を、時間をかけて観察する機会を作ることができたことが良かった。

・住環境で庭がない家庭が増えていることもあり、身近に植物を感じながら生活する機会が減っているのではないかと感じた。園で植物に触れたり、成長を見守ったりする機会を増やしていけると良いと思った。

# とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設番号	66-1058
施設名	杉並の家ちゅうりっぷ保育園
施設所在地	杉並区浜田山2-23-13
法人名	社会福祉法人けいわ会

## 1. 活動のテーマ

<テーマ>

種・植物・自然「どんぐりに触れて遊ぼう」

2歳児クラス（ひつじ）

<テーマの設定理由>

（テーマに関する子どもの興味関心、園の特色など）

四季折々、公園の様子を戸外活動で楽しみにしている。

どんぐりに色んな種類がある事を知る。

身近な自然物であるどんぐりを拾い、遊びや製作を楽しむ。

## 2. 活動スケジュール

- ・秋になり、公園の変化に興味を持ち探索を楽しむ姿が見られた。
- ・公園に出掛けてどんぐりの種類が書かれている表を見ながら拾う。
- ・どんぐりを持ち帰る散歩バッグを作る。
- ・拾ったどんぐりを使ってクリスマスツリーを作る。

### 3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

(活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具)

- どんぐりの表を用意してラミネートしておく。
- 2リットルのペットボトルを半分に切る。(切り口にはビニールテープを貼っておく)
- 厚紙でツリーを作り、子どもが好きな色の毛糸を巻く。

### 4. 探究活動の実践

<活動の内容>

- 公園でどんぐりを拾って持ち帰り、冷凍庫に入れて虫を駆除しておく。
- 保育者が見本を見せながら説明する。
- 好きな大きさのどんぐりを選んでクリスマスツリーに貼る。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

(活動の内容、活動中見られた子どもの姿、保育者との関わり等)

- どんぐりの表と拾ったどんぐりを照らし合わせて、形の違いに気付いていた。様々な形があることを伝えると違う種類のどんぐりも見つけようと探していた。
- 好きな大きさのどんぐりを選んで、保育者に貼り方を聞きながら集中して貼り付けていた。



## 5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

身近な自然物であるどんぐりを使うことで、活動に意欲的な姿が見られた。どんぐりの表を用意したことで様々な種類があることを知るきっかけとなり、公園でどんぐりを見つけると大きさや太い・細いなどの形の違いに気付けるようになった。季節感のある製作に取り入れたことで、楽しみながら取り組んでいた。また、これを機に自然物を積極的に探したり、質問したり意欲的に捉えられるようになったことも良かった。

## とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設番号	66-1058
施設名	杉並の家ちゅうりっぷ保育園
施設所在地	杉並区浜田山2-23-13
法人名	社会福祉法人けいわ会

### 1. 活動のテーマ

<テーマ>

種・植物・自然「虫」

3歳児クラス（きりん）

<テーマの設定理由>

自然物や虫が好きな子どもが多く、戸外に出ると生き物を見つけては観察したり、飼育に興味を持った。

### 2. 活動スケジュール

アゲハ蝶の幼虫を譲り受けてきりん組で飼う準備を始める。  
園庭のミカンの木の葉を取り餌にする、図鑑や実物を見て幼虫から成虫になっていく様子を観察をする。

### 3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

(活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具)

虫かご、ミカンの葉、ティッシュ

#### 4. 探究活動の実践

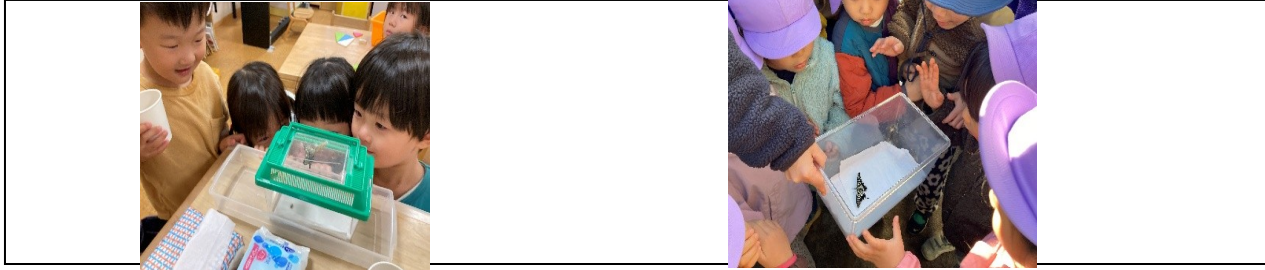
##### <活動の内容>

5月20日 園長先生からアゲハ蝶の幼虫を譲り受けてきりん組で飼う事を子どもたちに伝える。飼う為に何が必要か図鑑を見ながら話し合い、園庭のミカンの木を取りに行く。  
5月21日 黒い幼虫が青虫になったことを子どもたちが発見。保育者や他の子どもたちと確認。  
6月10日 青虫がちょうちょになったことを確認。子どもたちと話し合い、中庭に逃がすことを決める。

##### <活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

(活動の内容、活動中見られた子どもの姿、保育者との関わり等)

クワガタや青虫の幼虫を飼うと決めて子どもたちに見せた時に約束を伝えたり、飼うにはどんなものが必要か話しながら保育者が世話をしている様子を見たり一緒にやろうとする姿が見られた。図鑑を見たり観察していくうちに虫の生態や好きな食べ物、体の部位に興味を持ち保育者に質問する子が増えた。



## 5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

保育者と共に観察や世話をしていく中で愛着が沸き、毎日様子を気にしたり変化を感じ取るなど保育者以上に変化に気付く姿が多く見られた。図鑑を見ながら子ども達同士で青虫の幼虫の触角がどうして伸びるのか、何の食べ物が好きのかなど話し合う事もあった。戸外に出た時に今まで以上に様々な虫や自然に興味を持っているように感じる。盛夏が終わり急に涼しくなった頃に幼虫を見つけ2度目の飼育を始めたが、季節が変わったことで中々成虫にならず、子どもにどう説明するか悩んだ。が、蝶になった姿を発見し子どもたちの喜びは大きかった。

# とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設番号	66-1058
施設名	杉並区ちゅうりっぷ保育園
施設所在地	杉並区浜田山2-23-13
法人名	社会福祉法人けいわ会

## 1. 活動のテーマ

<テーマ>

植物、種、自然  
3歳児クラス（きりん）  
4・5歳クラス（らいおん）

<テーマの設定理由>

（テーマに関する子どもの興味関心、園の特色など）  
園庭にはいろいろな自然がある。講師の助言を基に科学的に取り組むことで視野を広げ、より学びを深めたい。

## 2. 活動スケジュール

日時	活動内容	対象クラス
①5月14日	野菜の中の種探し、ピーマンの種取り、種を貼りお絵描き タンポポの花の観察、種の種類分け、種のオーナメント作り	3歳児クラス 4,5歳児クラス
②5月26日	雑草の観察、大豆の皮むき、お絵描き 種の観察、種、根、花のお絵描き、雑草の引き抜き	3歳児クラス 4,5歳児クラス
③6月9日	雑草の標本作り、茎の水のしみこみ方 植物の水分の摂り方	3歳児クラス 4,5歳児クラス
④6月23日	花びらの解剖、生け花 トルコキキョウの観察、生け花	3歳児クラス 4,5歳児クラス
⑤7月11日	朝顔の色水実験 花のお絵描き、布に花や葉のこすり出し	3歳児クラス 4,5歳児クラス
⑥8月21日	種のある野菜、野菜スタンプ 朝顔の色水実験	3歳児クラス 4,5歳児クラス

### 3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

<p>(活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具)</p> <p>野菜の中の種探し、ピーマンの種取り…ピーマン、オレンジ、キウイ、画用紙、クレヨン 雑草の観察、大豆の皮むき、お絵描き…園庭に生えている雑草、大豆、画用紙、クレヨン 雑草の標本作り、茎の水のしみこみ方… 花びらの解剖、生け花…花、セロテープ、画用紙、スポンジ、牛乳パック 朝顔の色水…朝顔、ジップロック、重曹、クエン酸、スプーン、カップ、トレイ 種のある野菜、野菜スタンプ…じゃがいも、小松菜、とうもろこし、人参、オクラ、茄子</p>
--

### 4. 探究活動の実践

種、根、茎、花に分けて植物や野菜を観察し種があるのか調べた。実際に雑草を抜いて土の中はどうなっているのかを考え植物を絵に描いたり、解剖をしたりと植物に触れて遊びながら学んだ。花びらを袋に入れて手で揉んで色を出し、そこに重曹やクエン酸を入れて混ぜると色が変化したり泡が出るという実験を行った。

#### <活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

(活動の内容、活動中見られた子どもの姿、保育者との関わり等)

朝顔の色水に重曹やクエン酸を入れる実験では、自分でカップの中に色水と重曹やクエン酸を入れて色が変わる様子を観察した。混ぜているとどんどん色が変わっていくので不思議そうに色が変わっていく様子を見て保育者に報告していた。どうして色が変わるのかをカップを見ながら考えたり、友達と話をしている姿が見られた。



#### 5. 振り返りによって得た先生の気付き

##### <振り返りによって得た先生の気づき>

植物というテーマで活動をしていく中で野菜や花や葉などにも興味を持ち、より積極的に植物に触れる姿が見られるようになった。色々な植物に触れて図鑑で調べたり、観察、実験、お絵描きの活動に広がり子どもの興味関心を引き出すことが出来た。講師よりすくわくの活動前より植物に対する子どもの興味が育っていたこと、様々な遊びの中で自然と触れる機会があったことが活動に繋がった。子どもたちが一番輝いていたのはアタマに思い描いたものを描く事、色を塗ることだった。園庭といういつもの環境で実験に取り組めた事で身近な所から活動を広げることが出来た。今後もさらにフィールドワークを広げていきたいと思う。